



# The Trajectory

International exchange  
Shimonoseki city university

## 2021 年度版『The Trajectory Vol.1』の発刊に寄せて

長年下関市立大学の国際交流状況についてまとめ、お伝えしてきた『国際交流白書』は、冊子体での発刊を 2020 年度で終了し、web 版での公表に切り替えることといたしました。手触り感のある冊子体での刊行も国際交流に対する愛着を育むものとして意味あることではありますが、この度の決断に至った理由は 3 つあります。

一つは、昨今の ICT の発達とデジタル化の流れのなかで、可能な限り経費を削減しながら国際交流活動に関する情報を発信していくことの重要性について配慮せざるを得なかったことであります。このことは、国際交流に限らず、教育や研究に関わる本学のさまざまな活動についても広げて行かざるを得ません。

二つ目は、本学の国際交流活動を web 上でお伝えすることによってより広範な情報のサーキュレーションを実現しようということです。実際に手で持つことの利便性も重要ですが、国際交流活動がより多くの人の目に止まることも大切なことと考えます。

三つ目の理由は、2021 年度から国際交流に関する考え方を大きく転換したことにあります。2019 年末から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は国際交流活動に大きな打撃を与えました。危険な状況は変わらず続いていますし時間はかかりますが、いずれ人の行き来も次第に緩和され、国際交流活動も復活を遂げると思います。そのなかで、本学は国際交流を通じたグローバル人材の育成というコンセプトをより前面に出していきたいと願っています。グローバル人材とは、単に国境を超えて活躍するだけでなく、国内においても国内外の人と関わり、発信する能力と意欲を持った人材を意味します。ICT の発達がまさにそのことを可能にしています。加えて、海外から本学に留学してきた学生が国内の学生や地域の人びとと交わり、いずれ本国に戻って日本の事情を伝えることは大切なことです。あるいは海外に出て異文化を体験した学生が国内に戻り、これから海外に留学しようとしている学生、あるいはまだ留学を決めていないが漠然とした海外での学びに憧れを感じている学生に海外での学びを伝えることによって、多くの学生に刺激を与えることも重要な効果です。日本人の学生が、自国の文化や事情について案外薄い知識しか持っていないことに気づき、自国のことについて学ぶことの大切さに目覚めることもあります。そうした学生同士の知的・文化的摩擦の中からグローバル人材が育っていくこととなります。この度発刊する『The Trajectory』がその媒体として大きく役立ってほしいと願っている次第です。そして、このことが web 版『The Trajectory』発刊の最大の理由と言えます。

充実した内容によって国際交流の実が大いに上がっていくことを期待したいと思います。

下関市立大学 学長 川波洋一

## 国際交流センターとは

Gloculii up for GHR

下関市立大学から海外へ

-協定校の紹介

海外から下関市立大学へ

-外国人留学生サポート

INPaCS

語学プログラム

異文化理解プログラム

## 2021 年度報告

在籍留学生数

海外留学等の体験者数

奨学金受給者数

2021 年度イベント報告

語学プログラム報告

# International Exchange Center

下関市立大学国際交流センターは、2020年7月に事務局の一部署から独立した新たな体制に生まれ変わり、国際交流に専門性のある教員や日本語教員と職員が教職協働を体現しています。

三方を海で囲まれ、古くから人的、物的交流の結節点として多様な国際関係を形成してきた下関市に位置する下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」を理念に掲げ、グローバル人材の育成に力を入れ、中国・台湾・韓国・アメリカ・トルコ・ドイツ・オーストラリアに位置する16の大学と交流協定を結んで学生の交流を促進しています。

グローバル化が進展する社会を担うために、社会にはばたく直前の教育機関である大学には、グローバル人材を輩出することが期待されています。社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」に加え、グローバルな多様性社会の中でそれぞれに違いがあることを学び、互いの強みを引き出して、回答の無い問題に柔軟に対応する力を持つ若者、地域性の理解とグローバルな視点を併せ持つ若者が、これからの時代には必要です。

下関市立大学国際交流センターでは、海外との国際交流「Gloculii up for GHR (Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource)」とキャンパスでの国際交流「INPaCS(International Nexus Program at Campus of SCU)」、そして地域との国際交流の相互作用が若者のキャリアへと繋がり、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取組みを推進しています。

# Gloculii up for GHR

Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource

## 01 下関市立大学から海外へ

下関市立大学に入学した日からキャンパス内でグローバル体験が始まります。学内で行われる国際交流イベントやプログラムに参加することで、キャンパス内から異文化体験と理解が始まります。学生はキャンパスでの経験を経て海外に旅立ちます。短期的な海外留学体験プログラムである外国研修、各国にある協定校へ1セメスター又は2セメスター留学し、英語、中国語、韓国語で大学の授業を受講する派遣留学プログラムも有ります。派遣留学期間も下関市立大学の在籍期間に含まれますので4年間での卒業が可能です。

その他にも本学を休学して、大学等へ留学し単位互換をすることができる「単位認定私費留学」プログラムもあります。

下関市立大学から海外へ飛び立つ多様な方法を整え、サポートしています。

## 02 海外から下関市立大学へ

インターネット出願で受験が可能になった下関市立大学では、日本国外から直接受験して入学してくる留学生数が増加しています。また、協定校から派遣される特別聴講学生もいます。

新入学または新たに来日する留学生のためには留学生チューター制度によるサポート、奨学金や授業料減免などによる経済的サポートもあります。

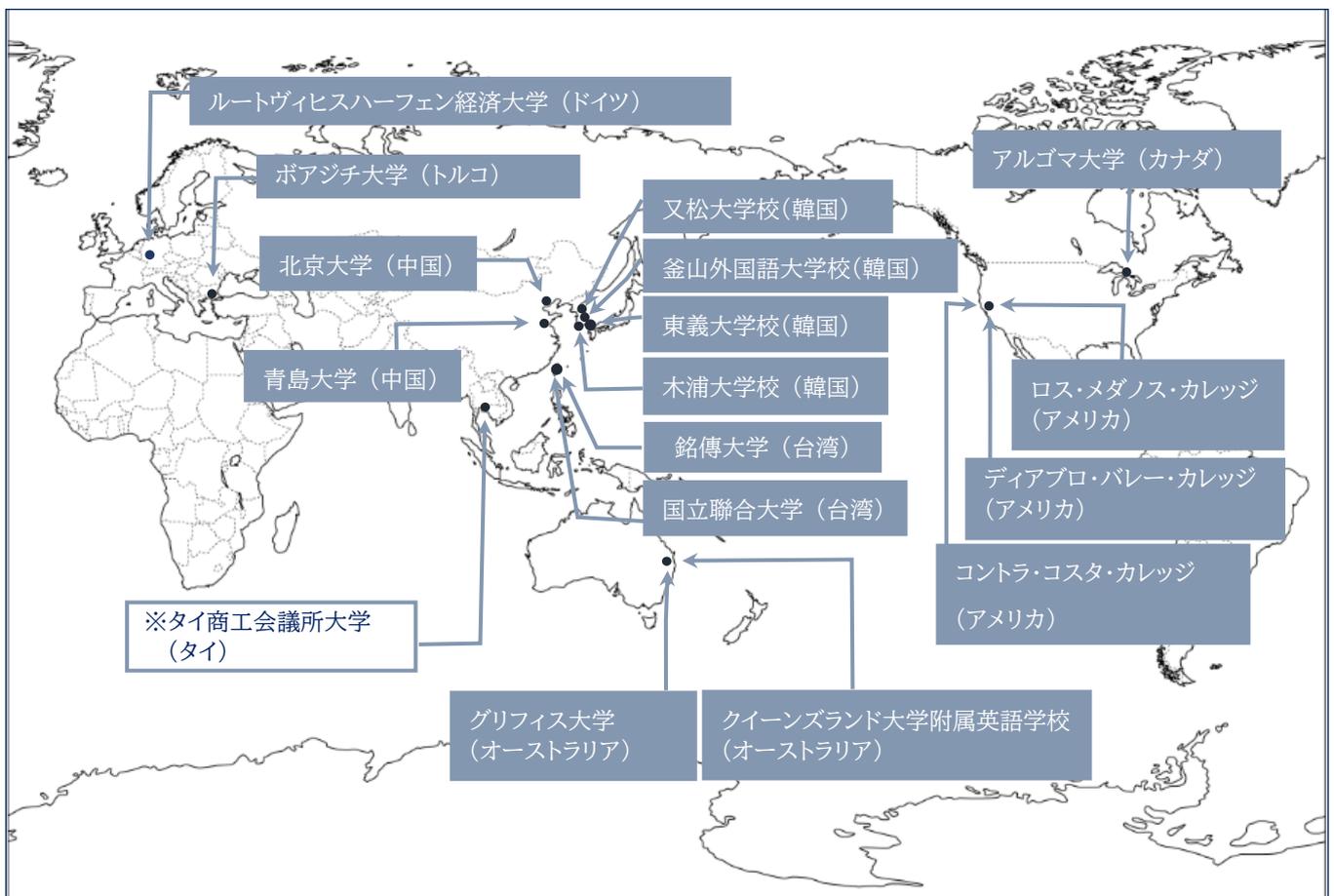
また、留学生は第一外国語として日本語を履修し、修学や研究、就職に必要な学術的な日本語指導を受けることができます。日本文化の神髄を知ろう!!や地域交流プログラム等で日本文化を実際に体験し、理解する機会も提供しています。

入学から就職までの支援を受けることができる体制を整えています。

## 協定校

下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2022年3月現在、中国に2校、台湾に2校、韓国に4校、アメリカに3校、カナダに1校、トルコに1校、ドイツに1校、オーストラリアに2校の合計16校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。



※タイ商工会議所大学は協定校ではありませんが、毎年1名の外国人留学生を科目等履修生として受け入れています。

# 派遣留学

派遣留学とは、1学期間～1年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は4年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は以下のとおりです。

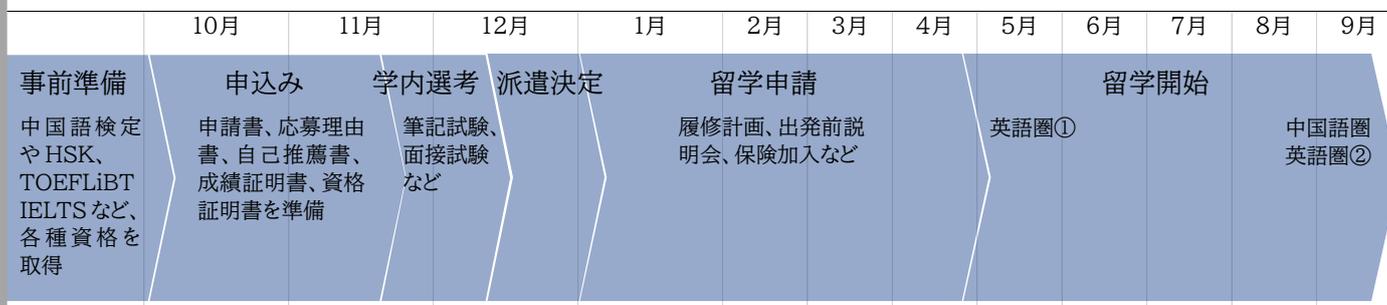
詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

## 1. 第I期派遣学生

- (1) 募集期間 10月1日～11月20日
- (2) 派遣先協定校 表1参照
- (3) 選抜試験の時期 11月20日～12月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 12月第4週

国名	中国		台湾	アメリカ	トルコ	ドイツ	カナダ	オーストラリア
大学名	北京大学	青島大学	銘傳大学	CCCCDの3大学 ロス・メタリス・カレッジ ティアブ・ロー・ハー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ	ボアジチ大学	ルートヴィヒス ハーフェン 経済大学	アルゴマ大学	クイーンズランド 大学付属英語学校 (ICTE-UQ)
派遣期間	9月～翌年8月			8月～翌年7月	9月～翌年8月		5月～翌年3月 9月～翌年8月	8月～翌年3月
	1学期間(1セメスター)のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります							1セメスター
募集人数	2名以内	5名以内	3名以内	4名以内	2名以内	2名以内	4名以内	半期×4名以内
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験				
派遣資格 ※1	中国語検定 3級 HSK4級	中国語検定 4級 HSK3級	中国語検定 4級 HSK3級	IELTS5.5点 TOEFLiBT61点	IELTS6.5点 TOEFLiBT 79点	IELTS5.5点 TOEFLiBT 70点 TOEIC650点	IELTS6.0点 TOEFLiBT 79点	英検、TOEIC、 IELTS、TOEFLiBT いずれかの受験結果
授業料 納入先	北京大学 (下関市立 大学の授業 料は免除)	下関市立大学		CCCCDの3大学 (下関市立大学の授業 料は免除)	下関市立大学		アルゴマ大学 (下関市立大 学の授業料は 免除)	ICTE-UQ (下関市立大学の授 業料は免除)

※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です(派遣までに語学力向上に努めてもらいます)



## 2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
- (2) 派遣先協定校 表2参照
- (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 6月第4週

国名	韓国			オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語大学校	グリフィス大学	グリフィス大学付属英語学校(GELI)
派遣期間	3月～翌年2月			2月～翌年1月	2月～7月
	1学期間(1 Semester)のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります				1 Semester
募集人数	2名程度	2名程度	2名程度	2名程度	
選抜試験	筆記試験および面接試験			面接試験	
派遣資格 ※1	TOPIKやハングル検定など いずれかを受検していることが望ましい ※2			IELTS6.0点 TOEFLiBT71点	英検、TOEIC、 IELTS、TOEFLiBT いずれかの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学			グリフィス大学 (下関市立大学の授業料は免除)	GELI (下関市立大学の授業料は免除)

※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です(派遣までに語学力向上に努めてもらいます)

※2 韓国の3大学については、選抜試験及び派遣の際に語学力の証明は必須ではありませんが、派遣先での履修の際に証明となる資格を取得しておくことが望ましいです

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定	留学申請						留学開始	
ハングル検定やTOPIK、TOEFLiBT、IELTSなど各種資格を取得	申請書、応募理由書、自己推薦書、成績証明書、資格証明書を準備		筆記試験、面接試験など		履修計画、出発前説明会、保険加入など							

## 外国研修

夏季休業中に 2～5 週間、海外の協定校など行うで語学研修のことを外国研修といいます。外国研修では、語学の研修だけでなく、様々な文化体験や交流行事がプログラムされています。

「外国研修（英語、中国語、韓国語）」は、正規の授業科目のため単位認定されます。

	2017年			2018年			2019年			2020年			2021年		
	受入期間	国名	参加人数	受入期間	国名	参加人数	受入期間	国名	参加人数	受入期間	国名	参加人数	受入期間	国名	参加人数
英語	ICTE-UQ	オーストラリア	26人	VIEC Education Canada Ltd	カナダ	13人	ICTE-UQ	オーストラリア	17人	非開講			非開講		
中国語	青島大学	中国	29人	銘傳大学	台湾	30人	青島大学	中国	27人	非開講			非開講		
韓国語	東義大学校	韓国	16人	東義大学校	韓国	13人	東義大学校	韓国	28人	非開講			非開講		

※2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため非開講でした。

## 私費留学

本学を休学して、海外の大学などに私費で留学をします。(単位認定を目的とした私費留学の制度もあります。) また、夏季休暇中などを利用して協定校附属の語学学校などで、語学を修得することもできます。

# 北京大学

中国・北京市



## 概要

北京大学は 1898 年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である 1912 年に北京大学と改称し、1952 年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950 年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。

学生数 約 30,000 人

## 学部

### 〈理学部〉

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピューターサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理工学院、ソフトウェア&マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター

### 〈人文学部〉

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

### 〈社会科学部〉

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教研学院、ニュースおよびメディア学院

### 〈経済管理学部〉

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院、

### 〈医学部〉

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、付属病院（8 病院）

## キャンパス

- 本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路 5 号
- 海淀キャンパス 北京市海淀区学院路 3 8 号
- 昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山口村
- 大興キャンパス 北京市大興工業開發区金苑路 2 4 号
- 無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城狀元道 5 号
- 深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路 2 1 9 9 号



Homepage : <http://english.pku.edu.cn/>

# 青島大学

中国・青島市



## 沿革

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは 1909 年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学  
校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。

もう一つは 1924 年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。

1946 年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956 年、医学院は山東大学から独立し、  
青島医学院となりました。1958 年に山東大学は済南に移り、1985 年青島大学は再度創立されました。

1950 年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校

などの時期を経て、1978 年に山東紡織工学院と改名されました。

1951 年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981 年に青島師範専門学校に改名され  
ました。

1993 年、その同時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学と  
なりました。

学生数 約 46,000 人 (内 大学院生 9,800 人、留学生 1,600 人)

## 学院

### 〈理学 工学〉

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、  
コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、  
物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

### 〈人文学 社会学〉

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、  
商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、  
哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

### 〈医学〉

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、  
附属心臓血管病医院

## キャンパス

浮山キャンパス (本部キャンパス)	青島市寧夏路 308 号
金家嶺キャンパス (イーストキャンパス)	青島市嶗山区科大支路 62 号
松山キャンパス (ウェストキャンパス)	青島市北区登州路 38 号

Homepage : <http://qdu.edu.cn/>



# 銘傳大學

台灣・台北市



## 概要

銘傳大学の前身は 1957 年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997 年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。2010 年にアジア初の米国認証評価（MSCHE, Middle States Commission on Higher Education）取得大学となり、2012 年に 4 月にアメリカの Saginaw Michigan 州（サギノーバレー州立大学構内）にも分校を設立しました。銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに 11 万人を超える卒業生を輩出しています。

学生数 約 20,000 人（内 大学院生 約 1700 人、留学生 約 2100 人）

## 学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の 10 学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国の Saginaw Michigan 州の 5 カ所にあり、学習支援を目的に、付属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R & Dセンターなどが設立されています。

また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・S M E インキュベーションセンターの 4 つの研究部門も併せもっています。

1990 年に「応用日語組」がつけられ、1996 年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。日本人教員を含む常勤教員が充実しています。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

## キャンパス

Taipei Campus 250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei

Taoyuan Campus 5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City

Jihe Campus 3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City

Kinmen Campus 105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County

Michigan Location Gilbertson Hall,

Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, Saginaw, MI

Homepage : <http://www.mcu.edu.tw/jp>



# 東義大学校

韓国・釜山広域市



## 概要

東義大学校は、釜山に15大学ある4年制大学のうちで、2番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は1977年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校5年目の1983年に4年制の総合大学に昇格し、1989年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしている。現在9つの学部、6つの大学院、14の付属機関、40の研究施設、産学協力団傘下の16の付属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。

学生数 約22,000人（内 大学院生 約600人、留学生 約300人）

## 学部 9学部 78学科

Humanities and Social Sciences（人文社会科学学部）

Business & Economics（商経学部）

Natural Sciences（自然科学学部）

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology（医療保健生活学部）

Korean Medicine(東洋医学部)

IT Convergence College of Components and Materials Engineering(IT融合部品素材工学部)

College of Engineering（工学部）

College of ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering

(ICT [情報通信、テクノロジー] 工学部)

Art, Design and Sport Science（芸術デザイン体育学部）

## キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区殿光路 176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路 52-57

Homepage : <https://eng.deu.ac.kr/eng>





# 木浦大学校

韓国・務案郡



## 概要

木浦大学校(Mokpo National University)は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山(Seungdal-Mountain)のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることにまい進しています。

## 沿革

- 1946年 木浦師範学校設立
- 1963年 12月 木浦教育大学に改編
- 1978年 3月 木浦初級大学になる
- 1979年 3月 4年制の国立木浦大学になる
- 1990年 3月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる

学生数 約 13,000 人 (学部生 約 11,600 人、大学院生 約 1,400 人)

## 学部

- Humanities (人文学部)
- Social sciences (社会科学学部)
- Natural sciences (自然科学学部)
- Engineering (工学部)
- Business Administration (経営学部)
- Human Ecology, Arts and Physical Education (生活科学芸術体育学部)
- Education (教育学部)
- Pharmacy (薬学部)
- Liberal Education (教養教育学部)

## キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路 41 番キル 11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里 2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面栄山路 1666

Homepage : <http://www.mmu.ac.kr/eng.mokpo.ac.kr/index.9is>



# 釜山外国語大学校

韓国・釜山広域市



## 概要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学と IT 又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指している。また、日本語専攻者数が韓国国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的である。

学生数 約 9,600 人 (内 韓国人学生 約 8,900 人、外国人留学生 約 700 人)

## 沿革

- 1950 年 12 月 財団法人盛昌学院設立
- 1981 年 11 月 学校法人盛智学院に変更
- 1981 年 12 月 釜山外国語大学設立
- 1982 年 3 月 釜山外国語大学開校
- 2014 年 2 月 南山キャンパスに移転



## 学部

### 〈ヨーロッパ&米州大学〉

英語学部、フランス語科、ドイツ語科、スペイン語科、ポルトガル語科、イタリア語科、ロシア語科、トルコ・中央アジア語科、ヨーロッパ地域通商学科

### 〈アジア大学〉

韓国語教育学科、日本語融合学部、中国学部、タイ語科、インドネシア・マレーシア学科、ベトナム語科、ミャンマー語科、インド地域通商学科、アラブ学科、G2 融合学科

### 〈社会科学大学〉

映像コンテンツ融合学部、相談心理学科、社会福祉学科、国際学部、外交・国際開発学部、警察行政学部、サイバー警察学科、サイバー融合保安学科、社会体育学部、スポーツリハビリテーション学科

### 〈商経大学〉

経営学科、スマート資産経営学科、国際マーケティング学科、国際貿易学科、経済金融学科、国際秘書学科、航空サービス学科、ホテル・観光学部

### 〈IT 大学〉

コンピューター工学科、ソフトウェア学部、人工知能融合学科、ビッグデータ学科

## キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

Homepage : <http://www.bufs.ac.kr/>





# 又松大学校

韓国・大田市



## 沿革

1954年4月17日 又松教育財団創立

1995年3月18日 又松大学校開校（8学部、950名の学生が入学）

学生数 約 12,723 人

## 学部

融合経営、グローバル融合ビジネス、グローバルホテルマネジメント、AI・ビッグデータ、Endicott 自律融合、  
鉄道建設システム、鉄道システム、鉄道経営、建築工学、物流システム、鉄道車両システム、IT 融合、  
テクノメディア融合、外食調理、グローバル調理、外食調理栄養、バイオ食品化学、外食調理経営、ホテル観光経営、  
ヒューマンデジタルインターフェース、社会福祉、物理療法、作業療法、保健医療経営、言語聴覚療法、救急救命、  
消防安全、看護、乳幼児教育、スポーツ健康リハビリテーション、ビューティーデザイン経営

## キャンパス

27 Baengnyong-ro 57beon-gil, Jayang-dong, Dong-gu, Daejeon, Korea

Homepage : [www.wsu.ac.kr/en](http://www.wsu.ac.kr/en)



# ロス・メダノス・カレッジ(LMC)

## アメリカ・ピッツバーグ



### 概要

ロス・メダノス・カレッジ(LMC)は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ(CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。

メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのパークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

学生数 約3,000人(フルタイム学生)

### 専攻

Administration of Justice (司法)、Anthropology (人類学)、Appliance Service Technology (電気サービス技術)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Child Development (子どもの発育)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ)、Computer Science (コンピュータ科学)、Electrical Technology (電気技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Kinesiology (運動学)、Liberal Arts (一般教養教育)、Management and Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Physics (物理)、Process Technology (プロセス技術)、Psychology (心理学)、Real Estate (不動産)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Travel Marketing (旅行マーケティング)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)

### キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

Homepage : <http://www.losmedanos.edu/>



# ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)

アメリカ・プレザントヒル



## 概要

ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART)という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった約900人の留学生在が学んでいます。

学生数 約6,700人(フルタイム学生)

## 専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピューターネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング、トランスファー研究 等

## キャンパス

Diablo Valley College: 321 Golf Club Road, Pleasant Hill, CA 94523 USA

Homepage : <https://www.dvc.edu/>





# コントラ・コスタ・カレッジ(CCC)

アメリカ・サンパブロ



## 概要

コントラ・コスタ・カレッジ（CCC）は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある 3 つの大学(LMC、DVC そして CCC)の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供している CCC は、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな 83 エーカーの敷地にあります。1949 年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCC は、毎年 7,000 人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016 年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。

学生数 約 1,700 人（フルタイム学生）

## 専攻

司法、アフリカ系アメリカ人研究、人類学、天文学、自動車サービス、生物科学、ビジネス、ビジネスオフィステクノロジー、化学、コンピューター情報システム、コンピューターサイエンス、料理芸術、幼児教育、地球科学、経済学、救急医療サービス、工学、英語、ESL、地理、地質学、健康教育、健康ヒューマンサービス、歴史、人文科学、ジャーナリズム、ラ・ラザ研究、教養学、数学、メディア、医療支援、音楽、看護、哲学、体育、物理学、政治学、心理学、法学、不動産、社会学、スピーチ 等

## キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

Homepage : <https://contracosta.edu>



# アルゴマ大学

カナダ・スーセントマリー



## 概要

アルゴマ大学での教育は、伝統と豊かな歴史に彩られています。1873年当時、シングウォーカーホールと呼ばれる北米先住民族の子供たちが通う学校が設立されたのが始まりでした。

「小さな大学、豊かな教育」をモットーとしており、クラスの定員人数を少なく設定し、学生達に教室内での意見発表、活発なディスカッションを行い、独自の考えを持つことを推奨しています。授業が終わった後でも、サポートやガイダンス、指導などを気軽に受けられるようにしています。

また、アルゴマ大学は25以上の学位を授与できる多様性を備えている大学ですが、自分にふさわしい居場所を見つけられる、いわゆる「コミュニティ意識」を根付かせるのに手頃なサイズの大学です。

アルゴマ大学は3学期制度（秋学期：9月開始、冬学期1月開始、春学期5月開始）を採用しています。

校舎は、スーセントマリー市の昔ながらのランドマークとして有名で、セントマリー川を一望できます。また、スーセントマリー市は、世界保健機構(WHO)により、安全な国際コミュニティに指定されています。人口7万5千人のスーセントマリー市は、五大湖の中心部、アメリカとの国境に位置しています。地域の中心を担う便利な街というだけでなく、大自然の美しいアルゴマ地区がすぐそばにあり、都会のライフスタイルと精神的・身体的・社会的・文化的・知的な満足度高い日常生活の両方が手に入る都市のひとつでもあります。

学生数 約 1,600 人（内 留学生約 20%）

## 専攻

会計学、アニッシンパーモオイス（原住民の言語）、生物学、経営学、コミュニティディベロップメント、地域経済社会開発、コンピュータ科学、経済学、英語とメディア、金融と経済、美術、フランス語、地理学、歴史、法と司法、数学、音楽、政治学、心理学、ソーシャルワーク、社会学モットーと特徴

## キャンパス

Algoma University 1520 Queen Street East Sault Ste. Marie, ON

Homepage : <https://www.algomau.ca/>





# ボアジチ大学

## トルコ・イスタンブール



### 概要

ボアジチ大学（トルコ語：Boğaziçi Üniversitesi）は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムである YGS-LYS（Student Selection and Placement System）で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9つの学部と43の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。

学生数 約 15,000 人（内 留学生約 500 人）

### 学部

Faculty of Arts and Sciences（学芸学部）

Faculty of Economics and Administrative Sciences（経済学・行政学学部）

Faculty of Education（教育学部）

Faculty of Engineering（工学部）

The School of Applied Disciplines（応用分野学部）

The School of Foreign Languages（外語学部）

Ataturk Institute for Modern Turkish History（近代トルコの歴史のためのアタチュルク研究所）

Institute of Biomedical Engineering（医用生体工学研究所）

Institute of Environmental Sciences（環境科学研究所）

### キャンパス

South Campus Guneş Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Hisar Campus Hiser Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul

Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul

Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul

Homepage : [www.boun.edu.tr/en-US/Index](http://www.boun.edu.tr/en-US/Index)



# ルートヴィヒスハーフェン経済大学

ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン

## 概要

1965年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988年に設立され、経営学と日本学（または中国学）という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約180人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低1年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

## 沿革

1988年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルートヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立

1992年－日本科を増設

1994年－第一期生 経営学士（Diplom-Betriebswirt FH）として卒業

1997年－現在の建物に入居「東アジアセンター」と名称の変更

2004年－卒業資格をDiplom からBachelor に変更

2008年－中部・東ヨーロッパセンター(MOI)増設、設立20周年

学生数 約4,500人（内 留学生 約100人）

## 学部 4学部

Department of Management, Controlling, Healthcare（管理、管理会計、医療介護学部）

Department of Marketing and Human Resource Management（マーケティング、人的資源管理学部）

Department of Services and Consulting（サービス、コンサルティング学部）

Department of Social Work and Health Care（福祉、保健医療学部）

## キャンパス

4 67059 Ludwigshafen am Rhein

Homepage : <http://www.hs-lu.de/en>.



# クイーンズランド大学

オーストラリア・ブリスベン



## 概要

クイーンズランド大学は 1909 年 12 月 10 日ニューサウスウェールズ州からの独立 50 周年を記念して州議会で設立を制定され、それから 4 ヶ月後にクイーンズランド州で初めての大学、オーストラリアでは 5 番目の大学として設立されました。1911 年、83 人の学生（23 人の女性を含む）がブリスベンのジョージ通りにある総督官邸で初めての授業に出席しました。

第一次世界大戦が終戦に差し掛かった頃から、高等教育の増加に応じて、研究や教育が急速に成長し、1922 年にビクトリア公園の場所（現在、一部 Mayne Medical School が占めている）はクイーンズランド大学の永住の地として確保されました。後にフォーガンスミズビルと名付けられた最初の建物は、1939 年に完成しました。第二次世界大戦のときにはこの建物を軍事目的に転用し、南部西太平洋の陸軍連合のための高度本部として最初の役目を果たしました。クイーンズランド大学のジョージ通りから St. Lucia 地区への移転は 1946 年から 1972 年の間に完了しました。

2014-15 年の世界大学ランキングトップ 100 位以内に入るクイーンズランド大学は、オーストラリアで最も高いランクの学習教育機関の一つです。海外からの留学生や交換留学生は、クイーンズランド大学の全 6 学部、4,000 コースのほとんどの授業を受講することができます。

学生数 約 53,000 人（内 留学生 約 18,000 人）

## 学部 6 学部

Business, Economics & Law (ビジネス、経済学、法学)

Engineering, Architecture & Information Technology (工学、建築、情報技術)

Health & Behavioural Sciences (保健、行動科学)

Humanities & Social Sciences (人文科学、社会科学)

Medicine (医学)

Science (科学)

## キャンパス

St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD

Herston Campus 288 Herston Road, Herston, QLD

Gatton Campus The University of Queensland Gatton Campus QLD

Homepage : <http://www.uq.edu.au/studyabroad/>

※クイーンズランド大学は 2019 年 4 月 6 日に協定は終了しました。

クイーンズランド大学附属英語学校(ICTE-UQ)との交流を続けています。



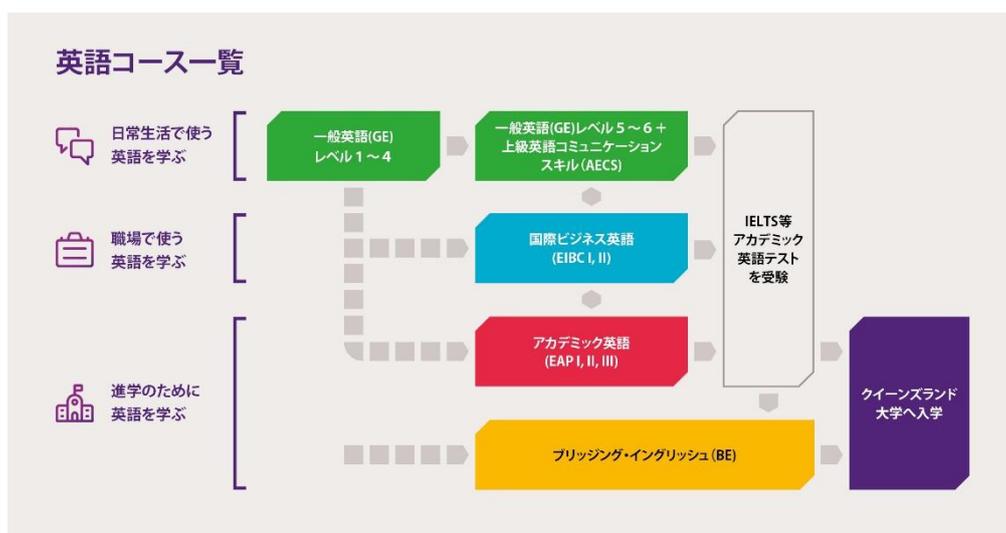
# クイーンズランド大学 附属英語学校(ICTE-UQ)

オーストラリア・ブリスベン

## 概要

クイーンズランド大学は 1909 年 12 月 10 日、ニューサウスウェールズ州からの独立 50 周年を記念して州議会で設置が決定され、4 ヶ月後にクイーンズランド州最初の大学、そしてオーストラリアでは 5 番目となる大学として誕生しました。そのクイーンズランド大学のキャンパス内に 1981 年に設置されたクイーンズランド大学附属英語学校は、クイーンズランド州で最も歴史ある政府認定語学学校です。世界 35~40 か国から約 1,500 人の留学生が集まっています。その内の多くの学生がクイーンズランド大学への進学をめざしているため、学習へのモチベーションが高く、お互いに刺激を受け合いながら留学生活を送ることができます。

英語教育に関しては、受講者のレベルや学習目的に合わせて様々な英語コースが提供されています。どのコースも革新的な教授法や最新鋭の技術を使って、経験豊富な教師陣により教えられているので、受講者は十分なサポートを得ながら学習ができます。1 クラスの人数は 18 名以下で、受講者は週 20 時間の対面式授業を受ける他、オンライン学習を利用し、ICTE-UQ が提供する選択活動に参加することもできます。



## キャンパス

St Lucia Campus The University of Queensland St Lucia QLD

Homepage : <https://icte.uq.edu.au/>





# グリフィス大学

オーストラリア・ブリスベン



## 概要

グリフィス大学は、1971年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクィーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を1988年に初めて受け入れ、現在は、約130ヶ国から集まった約9,000人の留学生が在籍しています。また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとらわれない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

学生数 約40,000人（内 留学生 約9,000人）

## 専攻

Business and Government  
Criminology and Law  
Education  
Engineering and Information Technology  
Environment, Planning and Architecture  
Health  
Humanities and Languages  
Music  
Science and Aviation  
Visual and Creative Arts



## キャンパス

Nathan Campus 170 Kessels Road Nathan, QLD  
Mt. Gravatt Campus 176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD  
South Bank Campus 226 Grey Street South Bank, QLD  
Logan Campus 68 University Dr Meadowbrook, QLD  
Gold Coast Campus Parklands Drive, Southport, QLD

Homepage : <http://www.griffith.edu.au/>

下関市立大学では中国をはじめとする台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、パキスタン、ドイツ、トルコなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。

外国人留学生には4年間修学する学部留学生、協定校からの交換留学生、下関市の会社が誘致する科目等履修生、大学院で2年間修学する大学院留学生がいます。

## 外国人留学生のためのサポート

### 日本語科目

日本語 A~H  
日本語実習 a~j  
日本語演習 a~d  
日本語総合 A・B  
日本事情 A・B  
特別講義 G(就職日本語)  
特別講義 H(進学日本語)

### 留学生チューター

外国人留学生や特別聴講学生、科目等履修生のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。留学生チューターは、原則として2年生以上の学生(大学院2年生を含む)の中から学長が委嘱します。サポート期間は入学後1年間です。

留学生チューターは、原則留学生1人に対して1名が学習面だけでなく生活面のサポートも行います。下関市内探検・防災ツアーやリサイクルプラザ見学など、留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

### 留学生面談

1年に1回、学部および大学院留学生の個別面談を実施しています。

この面談では、これまでの学習や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留学生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

### 学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー (4月・9月)

環境みらい館見学・紙すき体験 (4月・9月)

留学生歓迎会 (4月)

留学生の面談 (4~5月)

日本文化の神髄を知ろう!! (7月・11月)

## 花柳流日本舞踊教室への参加

花柳流師範の花柳英佳和先生による日本舞踊教室が毎週 2 回開講されています。受講料は無料で、日本人学生も参加できます。

稽古(練習)の成果は、7 月の世界の厨房から(国際交流会ともだち主催)や 10 月の大学祭で披露します。

## 地域住民との交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学习への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

### 01. 交流学习への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のあるこども園等への派遣にも対応しています。

- ・名陵校区地域こども教室(偶数月)
- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらこども園 (毎月)

### 02. イベント・ボランティア等への参加

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。定期的に参加しているイベントは以下のとおりです。

- ・花見例会(4 月)-下関中央ロータリークラブ-
  - ・酒造祭り(4 月・10 月)-下関酒造-
  - ・先帝祭 安徳帝正装参拝(5 月)
  - ・下関市内在住留学生交流会(5 月)-下関ロータリークラブ-
  - ・関門女子旅まちあるき(6 月)-関門海峡観光推進協議会-
  - ・朝鮮通信使行列参加・通訳ボランティア(8 月)-下関市-
  - ・滞日体験発表会(11 月)-下関日中友好協会主催-
  - ・日中友好交誼会(11 月)-下関日中友好協会主催-
  - ・国際親善パーティー(12 月)-下関市ユネスコ協会主催-
- その他にもたくさんのイベントに参加しています。

# INPaCS

Intercultural Nexus Program at Campus of SCU

## 01 語学プログラム

- 外国語科目
- IELTS 対策 & +α講座
- 中国語で交流して友達になろう！
- 韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！

## 02 異文化理解プログラム

- 日本にいながら世界を知ろう！！
- 日本文化の神髄を知ろう！！
- 留学体験発表会
- グローバルキャリアへの道

## 外国語科目

下関市立大学では、英語のほかに中国語と韓国語を第一外国語として学ぶことができます。国際コミュニケーション分野の外国語実習は、外国人教員による対話型の授業を通じて、より実践的な語学運用能力を養成します。さらに、海外の姉妹校・友好校などでの短期語学研修に参加した学生には、外国研修の単位が認定されます。外国人留学生は日本語を第一外国語として学びます。

### 外国語

第一外国語：英語、中国語、韓国語、日本語(留学生)

第二外国語：英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語

国際コミュニケーション

外国語実習

外国研修

## IELTS 対策 & +α 講座

IELTS の点数を上げることは英語圏に留学を希望している学生には必須事項です。今年度は IELTS5.5 取得を目指すオンライン授業 10 回と、それに続くロジカルなコミュニケーション能力を身に付けることを目指すオンライン授業を 5 回行いました。

## 中国語で交流して友達になろう！

今まで習った中国語、独学で学んだ中国語の実践練習の場として、中国人留学生がファシリテーターを務める中国語で中国や台湾を知る会です。中国・台湾に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。

## 韓国語で遊ぼう！知ろう！さあ、行こう！

今まで習った韓国語、独学で学んだ韓国語の実践練習の場として、韓国人留学生がファシリテーターを務める韓国語で韓国語と韓国を知る会です。韓国に旅行や留学を考えている学生の皆さんのために定期的に開催しました。本学の協定校とオンラインでの交流会もしました。

# 日本にいながら世界を知ろう！！

下関市立大学の学生や地域のみなさんに、世界中で起こっていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的として、各テーマ国の方や、その国で暮らしたことがある方々にお話をさせていただく企画です。

## 〈第1回〉

銘傳大学と台湾について知る Information Session①

Griffith University と Australia について知る Information Session②

東義大学校と韓国について知る Information Session③

協定校の方に大学のある国や地域、大学の様子やシステムなどについて紹介してもらいました。

## 〈第2回〉

ボランティアって何だろう？ キベラスラムを知っていますか！？

2021 年度第 2 回はケニア(アフリカ)の首都ナイロビにあるスラム街キベラスラムでマゴソスクールという子供たちのための学校の運営やその他さまざまに子供たちを救う活動や地域の支援活動を行っている日本人女性からボランティアとは何なのか、ケニアの今はどんな様子なのかについてお話をいただきました。

# 日本文化の神髄を知ろう！！

留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的として、実施しています。

## 〈第1回〉

市大から古代へ～温故知新 恋する灯台のまち下関の絶景を心に刻んで～

2021 年度第 1 回は、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの館長よりお話を伺いながら館内を視察しました。また、観光地として人気の角島や福德稲荷神社を巡り、この季節ならではの日本海の強風を肌で感じながら絶景を楽しみました。

## 〈第2回〉

伝統衣装、着物の魅力を知る

2021 年度第 2 回目は、貸衣装千景店(下関西ライオンズクラブ会員)の貞金宗憲 代表取締役社長を講師に迎え、日本の伝統衣装「着物」に焦点を当て ZOOM で開催しました。

振袖や紋付き袴を留学生が試着する様子を撮影した動画や、様々な節目に着る和装を見せていただきながら、着物の歴史や柄の多様さ、和装の楽しさなどを感じることができる会になりました。

# 留学体験発表会

Griffith University(Australia)と釜山外国語大学校(韓国)に留学してきた先輩たちにお話をして頂きました。

# グローバルキャリアへの道

在学中のみなさんに、国際感覚や就職活動について具体的に考える機会を提供するために、ドイツやアメリカで、または日本各地で活躍している先輩方 7 名に、在学中の国際体験や留学を通して学んだこと、社会に出てその経験がどのように役に立っているか、後輩へ伝えたいこと等についてお話をして頂きました。

# »» 2021 年度報告

# 在籍留学生数

留学生在籍人数総括表 (5月1日現在)

2021年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中国	2		1	2	6	1	7	3		2		3						27
台湾																		0
韓国			5	4	4		1											14
ベトナム	1	1			3													5
マレーシア								1										1
パキスタン								1										1
ドイツ																		0
タイ																		0
トルコ																		0
小計	3	1	6	6	13	1	9	4	0	2	0	3	0	0	0	0		48人
合計	4人		12人		14人		13人		2人		3人		0人		0人			48人
					学部生合計		43人		大学院生合計		5人		非正規生合計		0人			

2020年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中国	1	2	6	1	6	3	3	4		3		3			4			36
台湾														1	1			2
韓国	5	4	4		1		2											16
ベトナム			3					2										5
マレーシア						1												1
パキスタン					1													1
ドイツ													2					2
タイ																		0
トルコ														1				1
小計	6	6	13	1	8	4	5	6	0	3	0	3	4	5	0	0		64人
合計	12人		14人		12人		11人		3人		3人		9人		0人			64人
					学部生合計		49人		大学院生合計		6人		非正規生合計		9人			

2019年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中国	6	1	6	3	2	3	4	6		3		2	2	3				41
台湾															2			2
韓国	4		1		1		1						3	1				11
ベトナム	3					2		1										6
マレーシア				1														1
パキスタン			1															1
ドイツ													1	1				2
タイ															1			1
トルコ																1		1
小計	13	1	8	4	3	5	5	7	0	3	0	2	6	7	1	1		66人
合計	14人		12人		8人		12人		3人		2人		13人		2人			66人
					学部生合計		46人		大学院生合計		5人		非正規生合計		15人			

2018年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中国	6	3	2	3	2	5	8	5		2		1	2			1		45
台湾														1	1			2
韓国	1		1				1							2	2			7
ベトナム				2		1												3
マレーシア		1																1
パキスタン	1																	1
オーストラリア																		0
ドイツ													2					2
タイ																1		1
トルコ																	1	1
小計	8	4	3	5	2	6	9	5	0	2	1	2	5	8	2	1		63人
合計	12人		8人		8人		14人		2人		3人		13人		3人			63人
					学部生合計		42人		大学院生合計		5人		非正規生合計		16人			

2017年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講		科目等履修		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中国	2	3	2	5	5	5	11	3	1	2	1	2			6			49
台湾														1				1
韓国	1				1									2	1			5
ベトナム		2		1			1											4
オーストラリア																		0
ドイツ													1	1				2
タイ																	1	1
トルコ																	1	1
小計	3	5	2	6	6	5	12	3	1	2	1	2	4	8	0	3		63人
合計	8人		8人		11人		15人		3人		3人		12人		3人			63人
					学部生合計		42人		大学院生合計		6人		非正規生合計		15人			

## 海外留学等の体験者数

年 度		2017	2018	2019	2020	2021
外国研修	中国語	29	30	27	—	—
	朝鮮語	16	13	28	—	—
	英 語	26	13	17	—	—
	小 計	<b>71</b>	<b>56</b>	<b>72</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
派遣留学	北京大学	1	—	—	—	—
	青島大学	1	2	1	—	—
	銘傳大学	2	—	3	—	—
	東義大学校	1	3	—	1	—
	木浦大学校	2	2	—	—	1
	釜山外国語大学校	—	—	2	2	2
	ロス・メダニス・カレッジ	4	—	—	—	—
	CCO CD ディアプロ・ロー・カレッジ	—	—	2	—	—
	コントラ・コスタ・カレッジ	—	—	—	—	—
	アルゴマ大学	1	5	3	—	—
	ボアジチ大学	1	1	2	—	—
	ルートヴィヒス ハーフェン経済大学	2	2	2	—	—
	クイーンズランド大学	2	3	—	—	—
	グリフィス大学	—	—	3	—	1
小 計	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	
国際インターンシップ	青島市(中国)	5	2	2	—	—
	大連市(中国)	—	—	—	—	—
	釜山広域市(韓国)	6	4	2	—	—
	シンガポール	14	11	10	—	—
	小 計	<b>25</b>	<b>17</b>	<b>14</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
その他研修等		<b>36</b>	<b>56</b>	<b>16</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
(教授会承認分) 私費留学	中国語圏	1	—	—	—	—
	韓国語圏	—	1	1	—	—
	英 語 圏	2	6	5	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
合 計		<b>152人</b>	<b>154人</b>	<b>126人</b>	<b>3人</b>	<b>4人</b>
年 度		2017	2018	2019	2020	2021

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修やPBL等の参加者、及び留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※ 2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響等のため派遣留学等が延期・辞退となっております。

# 奨学金一覧

## 下関東ロータリークラブ奨学金(対象：日本人学生)

下関東ロータリークラブが、英語圏に留学する日本人学生を対象に月額 50,000 円の奨学金を支給しています。協定校へ派遣留学する日本人学生を対象とした、返還の義務のある貸与型奨学金です。海外留学支援制度奨学金受給者が申込対象者です。

貸与金額は以下のとおりです。

	自宅生	自宅外生
国公立大学	20,000、30,000、 45,000 円/月	20,000、30,000、 40,000、51,000円/月

## 第二種奨学金(短期留学) (対象：日本人学生)

協定校へ派遣留学する日本人学生を対象とした、返還の義務のある貸与型奨学金です。日本学生支援機構に所定の手続きを行うことで、派遣先大学への派遣留学期間に奨学金の貸与を受けることが可能です。

貸与金額は以下のとおりです。

30,000 円(学部生のみ)

50,000 円、80,000 円、100,000 円、120,000 円(学部生・大学院生)

150,000 円(大学院生のみ)から選択できます。

## 文部科学省外国人留学生学習奨励費 (対象：外国人留学生)

我が国の大学等に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、経済的理由により修学に困難がある者に対し、奨学金を1年間給付するものです。

2020 及び 2021 年度大学院（渡日前入学許可制度による入学予定者対象）が受給採用（月額 48,000 円給付）されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入国できず、辞退になりました。

採用時期	所 属	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	受給者	応募者	採用者	応募者	採用者
4月採用	学 部	7	1	9	1	7	2	—	—	—	—
	大学院	1	1	2	1	2	1	2	2	2	2
10月採用	学 部	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2
	大学院	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		10	3	11	2	9	3	2	2	8	4

### **公益財団法人 JEES 日本語教育普及奨学金(日能) (対象：外国人留学生)**

採用年度に正規生として受給期間が1学年相当以上あり、一定期間内に日本語能力試験 N1 を受験し、170 点以上(中国語・韓国語以外を母国語とする者は 100 点以上)の成績を修めて合格した日本語指導者を目指す者が対象です。受給期間は最長2年間ですが、他の奨学金との併給はできません。

### **公益財団法人ロータリー米山記念奨学金 (対象：外国人留学生)**

採用年度に学部3・4年生あるいは大学院に在籍している(在籍予定者を含む)外国人留学生で、日本以外の国籍および在留資格「留学」を有し日本に在留している者を対象に、学部留学生月額100,000円、大学院留学生月額140,000円が給付される奨学金制度です。学業、人物ともに優れた45歳未満の者が対象です。受給期間は最長2年間ですが、他の奨学金との併給はできません。

### **公益財団法人平和中島財団奨学金 (対象：外国人留学生)**

採用年度に正規課程に在籍している(在籍予定者を含む)私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、月額30,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額100,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

### **公益財団法人朝鮮奨学会 大学・大学院奨学生 (対象：韓国人留学生)**

採用年度に正規課程に在籍している韓国人・朝鮮人学生のうち、成績が優良で学費の支弁が困難な者で、当奨学金と同額以上の給与奨学金を受給していない者に対して、学部生月額25,000円、大学院生月額40,000円が給付されます。受給期間は1年間ですが、継続生として応募することで2年間の受給も可能です。

### **株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 (対象：外国人留学生)**

採用年度に在籍残時間が最低2年以上の外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、月額50,000円を超える他の奨学金を受給していない者に対して、月額60,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

### **公益財団法人 SGH 財団奨学金 (対象：外国人留学生)**

採用年度に学部3年次かつ東南アジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、他の奨学金を受給していない者に対して、月額120,000円が給付されます。受給期間は2年間です。

### **公益財団法人似鳥国際奨学財団奨学金 (外国人私費留学生)**

採用年度に正規課程に在籍している(在籍予定者を含む)私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れており、他の奨学金を受給していない者に対して、月額80,000円が給付されます。受給期間は1年間です。

奨学金名	所属	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		応募者	受給者								
(公財)JEES 奨学金(日 能)	学 部	2	0	2	2	2	(2)	0	0	1	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
(公財)ロー タリー米山 記念奨学金	学 部	—	(1)	—	—	1	0	1	1	3	1
	大学院	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
(公財)平和 中島財団奨 学金	学 部	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
	大学院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
(公財)朝鮮 奨学会奨学 金	学 部	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(株)共立メン テナンス奨 学金	学 部	1	0	1	1	1	0	1	0	2	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(公財)SGH 財団奨学金	学 部	0	0	1	0	1	1	0	(1)	0	0
	大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(公財)似鳥 国際奨学財 団奨学金	学 部	—	—	—	—	—	—	—	1	0	0
	大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0

※ ( )内の数字は受給期間2年間の2年目受給者数です。

### 海外留学支援制度奨学金

本学と海外の協定大学との学生交流に関する協定等に基づき、派遣先大学に8日以上1年以内の期間留学するプログラムを実施する場合、日本学生支援機構がそのプログラム支援について評価・判断し、日本学生支援機構が定める資格・要件を満たす学生に奨学金を支援する制度です。日本学生支援機構からの支援が有る年と無い年があります。

国 名 (区分)	受入/派遣大学	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		派遣	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣
中 国 (丙)	北京大学	—		—		—		—		—	
	青島大学	5		5	2	5					
台 湾(丙)	銘傳大学	2	2	1		2	2				
韓 国 (乙)	東義大学校	2	1	2	2	1					
	木浦大学校	2	1	2	2		2				
	釜山外国語大学校	—	—	—	—	—	—			—	2
アメリカ (甲)	ロス・メダノス・カレッジ	—		—		—		—		—	
	ディアプロ・バレー・カレッジ	—		—		—		—		—	
	コントラ・コスタ・カレッジ	—		—		—		—		—	
カナダ (甲)	アルゴマ大学	—		—		—		—		—	
トルコ(甲)	ボアジチ大学		1				1	1			
ドイツ(甲)	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	2	1	1	1	1	2				
オーストラリア (乙)	クイーンズランド大学	—	1	—	3	—		—		—	
	グリフィス大学	—		—		—		—		—	

(甲地域 80,000円/月×留学月数、乙地域 70,000円/月×留学月数、丙地域 60,000円/月×留学月数)

## 国際交流活動に参加した学生に関するアンケート調査及び分析について

－2021年度国際交流センター活動を中心に－

### I. はじめに

本報告は、国際交流センターが主催した2021年度の国際交流プログラムに関して概説し、現在の学部生がどういった経路で国際交流プログラムの情報を得ているのか、国際交流プログラムの参加経験、参加したプログラム名、参加した国際交流プログラムの評価などを行った。全ての評価は国際交流センターが作成したアンケートを用いて行い、アンケートの結果は、今後の国際交流センターからの情報発信・受信方法や国際交流プログラムの構築に生かしていく基盤とする。

### II. 方法

1. 対象：下関市立大学 在学生、国際交流プログラムに参加した学生となる。
2. アンケート調査期間：2021年4月～2022年3月
3. 国際交流プログラム

国際交流プログラムは、大きく4領域に分け、「留学体験発表会」、「グローバルキャリアへの道」、「日本文化の神髄を知ろう!!」、「日本にいながら世界を知ろう!!」を行った。

#### 1) 留学体験発表会

本学が海外の大学と締結している協定校への派遣留学を体験した在 student から海外留学、海外生活を体験してきた多様で多彩な留学を発表するプログラムである。

#### 2) グローバルキャリアへの道

国際感覚や就職活動について具体的に考える機会を提供する目的として、海外または日本各地で活躍している卒業生が在学中に経験した国際体験、社会に出てその経験がどのように役に立っているのかなどを在 student に情報共有するプログラムである。

#### 3) 日本文化の神髄を知ろう!!

グローバル人材育成の一環として外国人留学生を含む本学の学生全員に、日本文化への興味を喚起し理解してもらうことを目的とするプログラムである。

#### 4) 日本にいながら世界を知ろう!!

世界中の出来事や暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的として、各テーマ別に諸外国の卒業生・在 student や現地生活経験のある卒業生・在 student からの情報共有を行うプログラムである。

#### 4. アンケート

アンケートは、国際交流センターが作成したアンケートであり、計6問（必修5問、自由記述1問）で構成されている。アンケートの項目としては、国際交流プログラムに参加した経験、以前参加したプログラム名、参加経験がある学年、今回参加したプログラムの評価などで構成されている。このアンケートは、国際交流プログラムに参加した学生がプログラムの終了後に Google フォームを用いて回答した。

### III. 結果

#### 1. 2021年度の全体アンケート

アンケート項目は計6問（必修5問、自由記述1問）に構成されており、計67名が回答した。詳細な質問項目については、以下のように示す。

##### 1) 問1. これまでにも国際交流プログラムに参加したことがありますか。

問1は、これまでに国際交流プログラムに参加したことがあるのかを聞く項目であり、67名のうち、参加したことがあると答えた学生は26名、参加したことがないと答えた学生は41名であった。

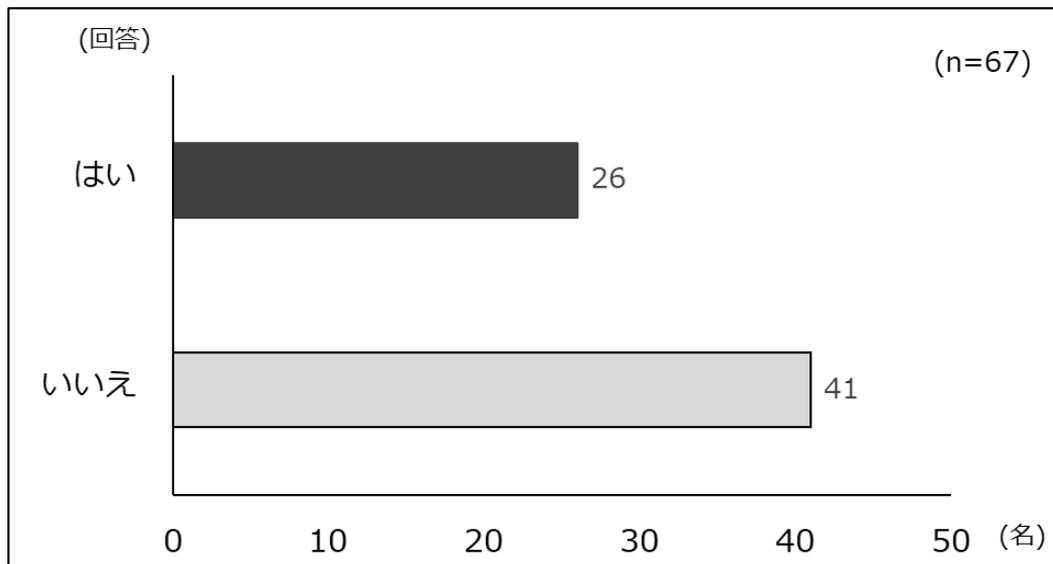


図1 これまでに国際交流プログラムに参加可否

##### 2) 問2. これまで国際交流プログラムに参加したプログラム名とは何ですか。

問2は、問1に「はい」と答えた26名を対象とし、複数回答が可能な質問項目であり、26名のうち、12名が複数回答したため、計47件の回答が得られた。今まで参加した国際交流プログラム名について回答した結果は図2である。回答した26名のうち、最も多く答えたプログラム名は「留学体験発表会」の16名であり、次には、「日本文化の神髄を知ろう!!」が8名、語学の「IELTS 対策講座 (オンライン)」が7名、ディベート力強化プログラム (オンライン) が6名、

「日本にいながら世界を知ろう！！」が5名、「グローバルキャリア」が3名であった。

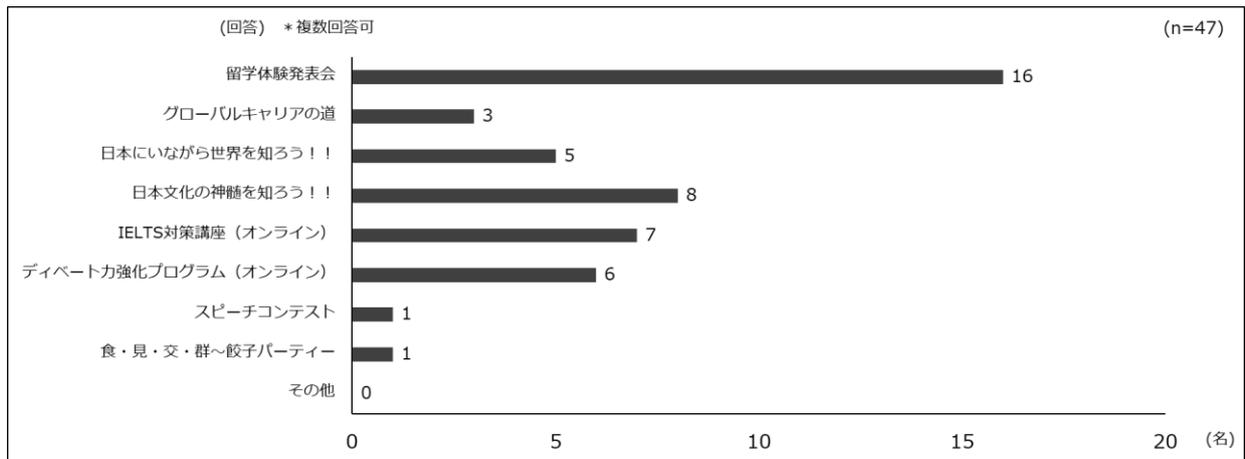


図2 以前参加した国際交流プログラム名

3) 問3. これまで国際交流プログラムに参加したのは何年生ですか。

問3は、問2と同様に、問1に「はい」と答えた26名を対象とし、複数回答が可能な質問項目であり、26名のうち、6名が複数回答したため、計36件の回答が得られた。図3は、今まで国際交流プログラムに参加した学年についての結果である。回答した26名のうち、最も多く答えた学年は「1年生」が21名であり、次には、「2年生」の9名、「3年生」が4名であった。

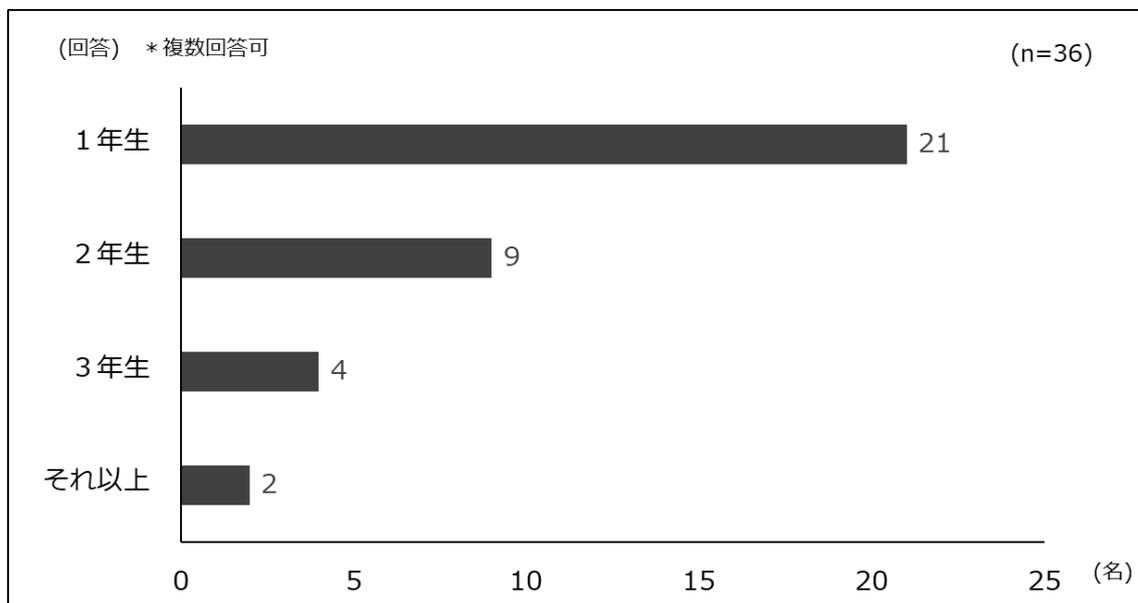


図3 国際交流プログラムに参加した学年

4) 問4. 今回参加した国際交流プログラムはどうやって知りましたか。

問4は、今回参加した国際交流プログラムをどう知ったのかに関する情報経路の質問であり、情報経路に関する結果は図4である。答えた67名のうち、「国際交流センターからのメール」で参加した学生が41名、「大学のホームページ」が7名、「大学内の掲示板」が6名と「国際交流セ

ンター」から直接知ったが 6 名、「友人や先輩」が 4 名であった。「その他」には、「教員」、「授業」、「日本語の授業」で知ったと答えた。

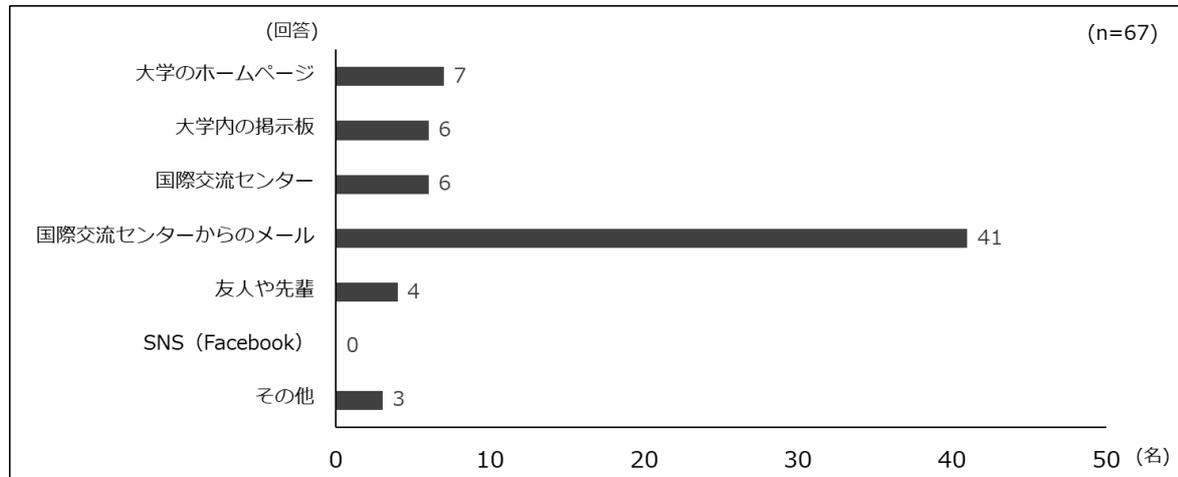


図4 国際交流プログラムを知った経路

5) 問5. 今回参加した国際交流プログラムはどうでしたか。

問5は、今回参加した国際交流プログラムの内容を評価する質問項目であり、1点（全くよくなかった）、2点（よくなかった）、3点（ふつう）、4点（よかった）、5点（とてもよかった）までのリッカート尺度で回答した。その結果、2021年度に行った国際交流プログラムの評価点数において、平均4.6点の高い評価が得られた。

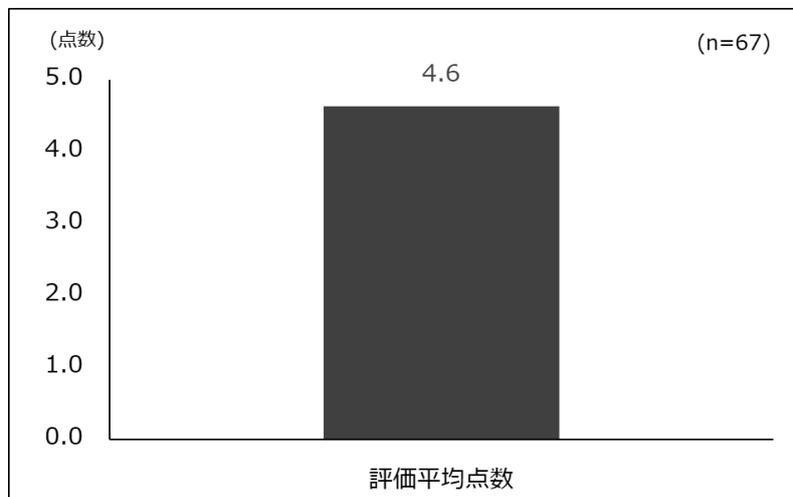


図5 参加したプログラムの評価点数

## 2. 国際交流プログラムごとのアンケート

### 1) 留学体験発表会

留学体験発表会は、2021年4月26日（月）に開催され、計17名の学生がアンケートに回答した。詳細な項目内容は表1で示す。

表1. 「留学体験発表」アンケート結果

アンケート質問項目	名/点	
問1. これまでにも国際交流センターのプログラムに参加したことがありますか。(名)	はい	3
	いいえ	14
問2. 「はい」とお答えした方に質問です。そのプログラムは何ですか。(名) *複数回答可	留学体験発表会	2
	グローバルキャリア	-
	日本にしながら世界を知ろう！！	-
	日本文化の神髄を知ろう！！	-
	IELTS 対策講座 (オンライン)	1
	ディベート力強化プログラム (オンライン)	2
	スピーチコンテスト	-
問3. それに参加したのは何年生のときですか。 *複数回答可	食・見・交・群～餃子パーティー	-
	その他	-
	1年生	3
	2年生	-
問4. 今日のプログラムはどうやって知りましたか。	3年生	-
	それ以上	-
	大学のホームページ	5
	大学内の掲示板	1
	国際交流センター	-
問5. 今日のプログラムはどうでしたか。	国際交流センターからのメール	10
	友人や先輩	-
	SNS (Facebook)	-
	その他	1
評価点数平均	4.4	

## 2) グローバルキャリアへの道

グローバルキャリアへの道は、2021年8月20日(金)に開催され、計10名の学生がアンケートに回答した。詳細な項目内容は表2で示す。

表2. 「グローバルキャリアへの道」アンケート結果

アンケート質問項目	名/点	
問1. これまでにも国際交流センターのプログラムに参加したことがありますか。(名)	はい	5
	いいえ	5
問2. 「はい」とお答えした方に質問です。そのプログラムは何ですか。(名) *複数回答可	留学体験発表会	5
	グローバルキャリア	1
	日本にしながら世界を知ろう！！	1
	日本文化の神髄を知ろう！！	-
	IELTS 対策講座 (オンライン)	2
	ディベート力強化プログラム (オンライン)	2
	スピーチコンテスト	-
問3. それに参加したのは何年生のときですか。 *複数回答可	食・見・交・群～餃子パーティー	1
	その他	-
	1年生	5
	2年生	2
	3年生	-

	それ以上	-
	大学のホームページ	-
	大学内の掲示板	-
問4. 今日のプログラムはどうやって知りましたか。	国際交流センター	1
	国際交流センターからのメール	9
	友人や先輩	-
	SNS (Facebook)	-
	その他	-
問5. 今日のプログラムはどうでしたか。	評価点数平均	4.6

### 3) 日本文化の神髄を知ろう！！

日本文化の神髄を知ろう！！は、2021年11月24日（水）に第1回市大から古代へ、2022年1月1月26日（水）には第2回伝統衣装、着物の魅力を知る、計2回のプログラムが開催された。第1回には13名、第2回には5名で、計18名の学生がアンケートの回答を行った。詳細な項目内容は表3で示す。

表3. 「日本文化の神髄を知ろう！！」アンケート結果

アンケート質問項目		名/点
問1. これまでにも国際交流センターのプログラムに参加したことがありますか。(名)	はい	7
	いいえ	11
問2. 「はい」とお答えした方に質問です。そのプログラムは何ですか。(名) *複数回答可	留学体験発表会	1
	グローバルキャリア	1
	日本にいながら世界を知ろう！！	1
	日本文化の神髄を知ろう！！	6
	IELTS 対策講座 (オンライン)	2
	ディベート力強化プログラム (オンライン)	-
	スピーチコンテスト	-
問3. それに参加したのは何年生のときですか。 *複数回答可	食・見・交・群～餃子パーティー	-
	その他	-
	1年生	5
	2年生	3
	3年生	1
問4. 今日のプログラムはどうやって知りましたか。	それ以上	-
	大学のホームページ	1
	大学内の掲示板	2
	国際交流センター	-
	国際交流センターからのメール	9
問5. 今日のプログラムはどうでしたか。	友人や先輩	4
	SNS (Facebook)	-
	その他	2
	評価点数平均	4.7

### 4) 日本にいながら世界を知ろう！！

日本にいながら世界を知ろう！！は、2021年4月26日（月）に第1回 Griffith University と

Australia について知る Information Session、2022 年 9 月 9 日（木）に銘傳大学と台湾について知る Information Session、2022 年 3 月 4 日（金）に東義大学と韓国について知る Information Session、2021 年 10 月 7 日（木）にはボランティアって何だろう？キベラスラムを知っていますか！？の 4 回のプログラムが開催された。第 1 回には 13 名、第 2 回には 5 名で、計 18 名の在学生在がアンケートの回答を行った。詳細な項目内容は表 4 で示す。

表 4. 「日本にいながら世界を知ろう！！」アンケート結果

アンケート質問項目	名/点	
問 1. これまでにも国際交流センターのプログラムに参加したことがありますか。(名)	はい	11
	いいえ	11
問 2. 「はい」とお答えした方に質問です。そのプログラムは何ですか。(名) *複数回答可	留学体験発表会	8
	グローバルキャリア	1
	日本にいながら世界を知ろう！！	3
	日本文化の神髄を知ろう！！	2
	IELTS 対策講座 (オンライン)	2
	ディベート力強化プログラム (オンライン)	2
	スピーチコンテスト	1
食・見・交・群～餃子パーティー	-	
その他	-	
問 3. それに参加したのは何年生のときですか。 *複数回答可	1 年生	8
	2 年生	4
	3 年生	3
	それ以上	2
問 4. 今日のプログラムはどうやって知りましたか。	大学のホームページ	1
	大学内の掲示板	3
	国際交流センター	5
	国際交流センターからのメール	13
	友人や先輩	-
SNS (Facebook)	-	
その他	-	
問 5. 今日のプログラムはどうでしたか。	評価点数平均	4.9

#### IV. 考察と今後の課題

本報告は、2021 年 4 月から 2022 年 3 月まで国際交流センターが主催した国際交流プログラムに関してアンケート調査を行った。その結果、在学生在がどういった経路で国際交流センターの情報を得ているのか、国際交流プログラムの参加数および参加率、参加した国際交流プログラムの評価・満足度を確認することができた。

国際交流センターが主催したプログラムの参加経験（問 1）は、計 67 名のうち、以前国際交流センターのプログラムに参加した経験があると答えた学生が 26 名で、全体の 39%であった。しかし、アンケートに答えた学生は大幅に 1 年生が多かったため、この結果が得られたと思われる。

また、プログラムごとの参加数・参加率を見ると、「留学体験発表会」に参加した学生数が最も

多いプログラムであった。この結果は、国際交流センターが行う年度最初のプログラムであったことや、留学に興味を持った学生と留学先の情報を知りたい学生が多いためであると予測している。また、留学体験発表会に参加した学生が作成した感想文を選別して述べると、以下のように回答した。

“今まで漠然的だったが、留学のイメージが鮮明になったように感じます。今まで、実際に留学をして方に話を聞く機会はなく、今回の先輩方の説明でよりリアルな部分が見えました。とてもわかりやすく説明していただき、今回のプログラムに参加してよかったなと思いました”

“実体験が聞けて、とても参考になりました。先輩方が経験したことのお話は大変刺激になるまでの、留学に行きたいという思いがさらに強まりました”

“留学はしたいと考えていますが、まだ明確には何も決まっていな上に、留学についてほとんど知らないため今日話を聞いて留学の良さを再確認し、もっと留学について真剣に考えて実現したいという気持ちが強まりました”

“現地に行った人しかわからないことや、詳しいお金の話まで聞くことができたので、非常にためになるプログラムでした。また、この発表会を見ている人は留学に行こうと考えている人や興味がある人が大半だと思うので、留学“前”の準備(語学検定など)についてより詳しい部分を聞くことが出来れば良かったなと思います。留学中の話の内容としては、大学の授業内容や全体的なスケジュールについてもっと話が聞きたかったです”

それ以降にも、日本にいる学生に対する「日本文化の神髄を知ろう！！」と「日本にいながら世界を知ろう！！」の国際交流プログラムを行った結果、「日本文化の神髄を知ろう！！」のうち、オンライン（zoom）を活用したプログラムより現場体験できるプログラムの参加率並びに評価が高かった。現場体験のプログラムは、新型コロナウイルス感染症のため、今年度初の現場見学・体験できるプログラムであった。そのため、オンライン（zoom）のプログラムより、現場見学を通して、学生同士との交流・活動がより高く評価されたと思われる。今後、新型コロナ感染対策を守りながら、学生同士が交流できる場を増やすため、現場体験及び対面活動などのプログラムを増やすことが国際交流センターの活動における課題となるだろう。

さらに、国際交流プログラムの情報経路を見ると、国際交流センターからのメールが最も多いことから、センターからのメールを活用することが重要であると考えられる。しかし、国際交流センターが主催するプログラムは、留学・海外に興味を持った学生の参加率が高いため、留学・海外に興味を持っていない学生が国際交流に興味を持つような活動並びにメールのお知らせ方法を工夫することが必要だろう。

本報告は、1年間の国際交流プログラムに参加した学生の結果を考察し、国際交流センターからの情報発信・受信方法まで、詳しく情報を調べることができた。さらに、本報告を通して、国際交流センターの活動、国際交流プログラム内容の構成、国際交流プログラムの参加率を増やす方法を工夫するなどの課題も見えてきたことから、この報告を基に、国際交流センター活動の発展に生かしていくことが重要であろう。

## 外国人留学生ファシリテーターによる語学プログラムの実施報告 -アンケート及びインタビュー調査の結果から-

### I. はじめに

下関市立大学国際交流センターでは、学内の国際交流推進のため様々な取り組みを行っており、その一環として、外国人留学生がファシリテーターとなり言語や文化を教える語学プログラム「中国語で交流して友達になろう!」「韓国語で遊ぼう!知ろう!さあ、行こう!」を今年度より開始した。中国語や韓国語を学びたい学生、中国や韓国の文化に興味がある学生を対象としたプログラムである。本稿は、「中国語で交流して友達になろう!」「韓国語で遊ぼう!知ろう!さあ、行こう!」のプログラムの報告を、学生に実施したアンケートとインタビューの結果とともに紹介する。

### II. 「中国語で交流して友達になろう!」「韓国語で遊ぼう!知ろう!さあ、行こう!」概要

下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」をひとつの理念としており、東アジアと古くから交流のあった立地もふまえ、中国語と韓国語を第一外国語として学ぶことが可能である。そのため、中国語や韓国語、中国や韓国の文化に興味を持つ日本人学生も多い。また、外国人留学生も中国語圏や韓国語圏からの割合が高い。そこで、キャンパスに居ながら外国語や異文化に触れ、学び、理解する環境作りの一環として、「中国語で交流して友達になろう!」「韓国語で遊ぼう!知ろう!さあ、行こう!」(以下、本プログラムと呼ぶ)を実施することとなった。

本プログラムは、中国語と韓国語を母語とする外国人留学生をそれぞれ2名ファシリテーターとし、毎週1回(90分)、中国語と韓国語を使用して交流するものである。外国人留学生は有償でファシリテーターを務め、毎週プログラムの企画から実施までを行う。日本人学生については、語学レベルを問わず誰でも参加することができる。

毎週の活動内容は、ファシリテーターが主導で企画し、国際交流センターの教職員は企画の相談や運営に関する業務を担う。本プログラムでは、ファシリテーターが日本人学生に対して言語や文化を教授するというより、言語を使用して交流することを目的とするため、言語を使用したアクティビティやゲームなどを中心に行った。

### III. 参加者について

#### 1. 参加者の概要

本プログラム参加者に対し、今後のプログラムの向上や参加学生の特性について知ることを目的として、参加理由や語学学習の目的等を問うアンケート調査を Google フォームを用いて行った。主な調査項目は、①語学学習の目的②語学レベル③外国人との交流への関心④参加者の特性の4項目である。調査時期は、プログラム開始時(4月)と、プログラム終了時(2月)の2回である。

### 1-1. アンケート調査の結果

回答数は、プログラム開始時に 26 件、プログラム終了時に 14 件で、詳細は以下の通りである。

#### 1) 問 1. 語学習得の目的は何ですか。

問 1. は、参加者に語学学習の目的を問う設問である。プログラム開始時終了時ともにその他を除くと海外旅行、海外への留学との回答が多い。その他の例は、自分の強みとするため、キャリア、趣味などの回答が見られた。

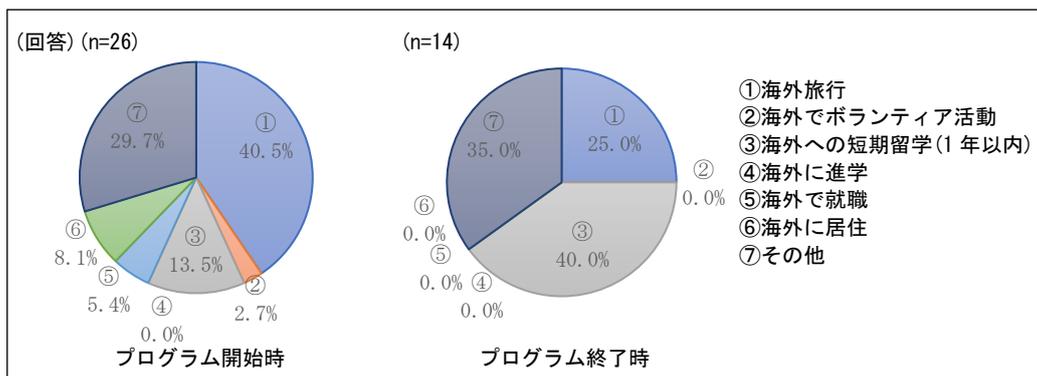


図 1. 語学学習の目的

#### 2) 問 2. 現在の語学レベルはどのくらいですか。

問 2 は、参加者の語学レベルを問う設問であり、開始時と終了時で回答の割合に大きな変化はない。ほとんど話せないもしくはあいさつ程度ならできるという初級レベルから、ドラマや映画は字幕があれば理解できるという中級程度のレベルの学生まで参加していることがわかる。

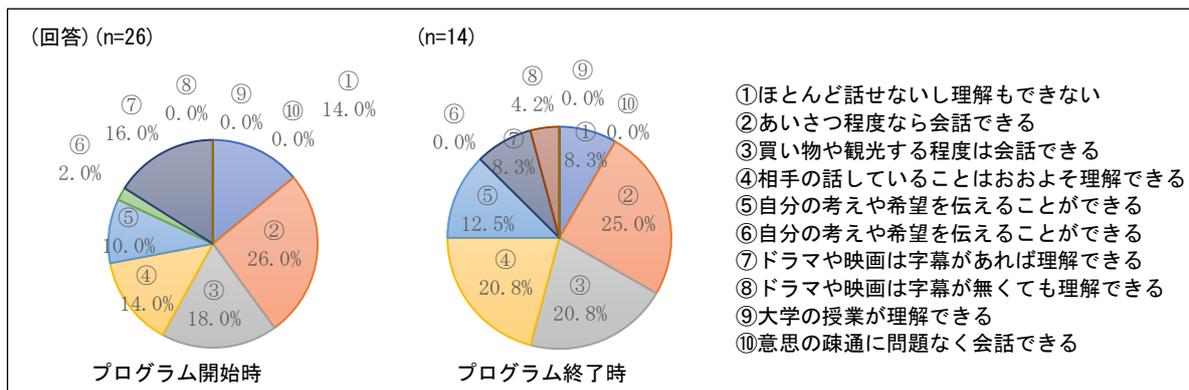


図 2. 現在の語学レベル

#### 3) 問 3. 今回参加している語学イベントの言語を話すことに抵抗がありますか。

問 3 は、参加学生の特性を知るための設問で、外国語を話すことへの抵抗を調査した。開始時終了時ともに回答の割合にほとんど変化は見られない。話したくても適切な言葉がすぐ出てこないが最も多い。次いで大勢の前で話すことに抵抗がある、間違えることが恥ずかしいという回答が多いが、あまり抵抗を感じないという回答も一定数いることがわかる。

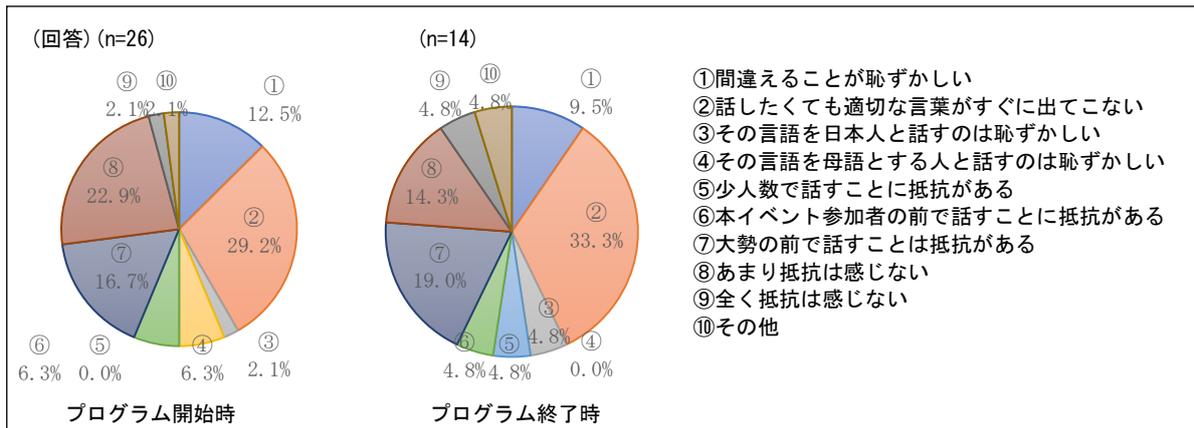


図 3. 参加イベントの言語を話すことへの抵抗

4) 問 4. 留学生と交流することに興味はありますか。

問 4 は、下関市立大学に留学している留学生との交流への興味を問う設問である。大半がとも興味がある、どちらかといえば興味があるとの回答であった。

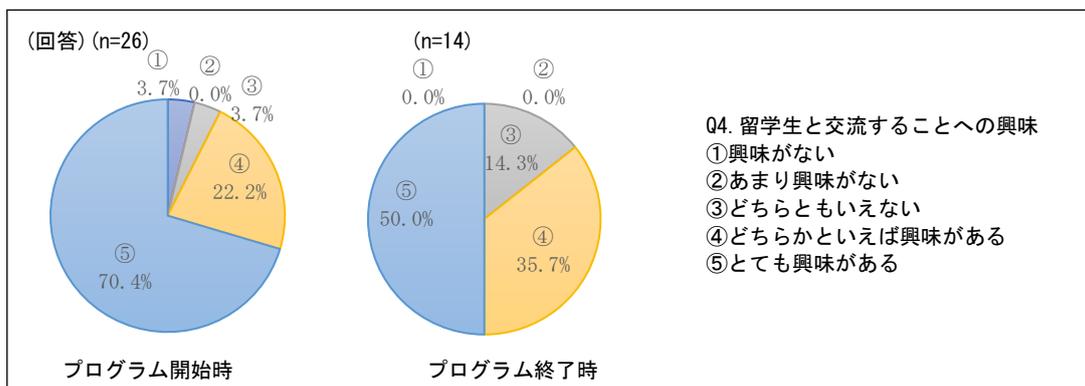


図 4. 留学生との交流への興味

5) 問 5. 外国人(イベントの言語を母語とする人)と交流することに興味はありますか。

問 5 は、留学生以外の外国人との交流への興味を問う設問で、ここでの外国人はイベントの言語を母語とする外国人と限定した。大半がとも興味がある、どちらかといえば興味があるという回答であった。

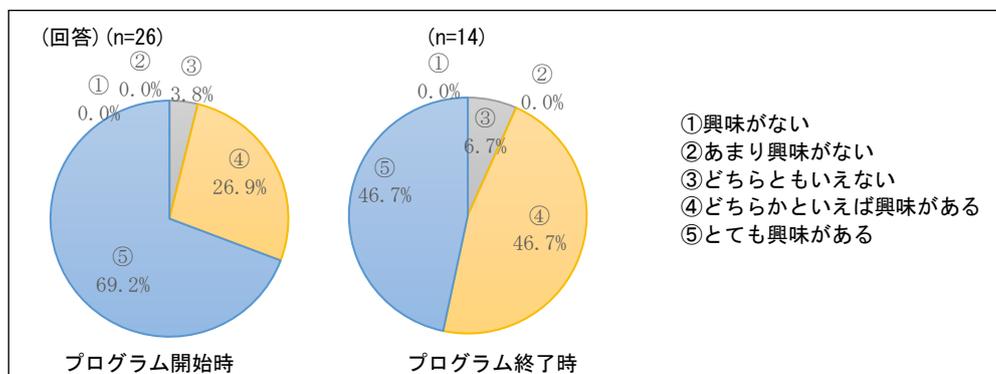


図 5. 外国人(イベントの言語が母語)との交流への興味

6) 問 6. 外国人(イベントの言語を母語としない人)と交流することに興味がありますか。

問 6 は、留学生以外の外国人との交流への興味を問う設問で、ここでの外国人はイベントの言語を母語としない外国人と限定した。開始時はとても興味がある、どちらかといえば興味があるとの回答が多かったが、終了時はどちらかといえば興味があるとの回答をどちらともいえないとの回答が上回った。

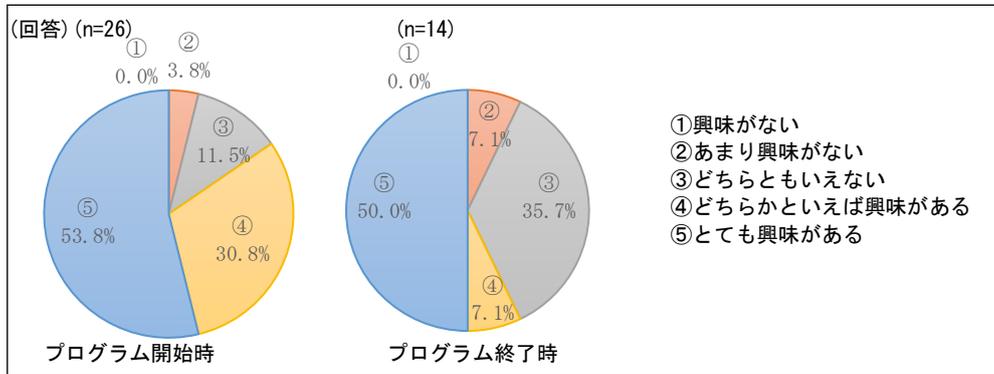


図 5. 外国人(イベントの言語が母語ではない)との交流への興味

7) 問 7. あなたは自己表現が得意ですか。

問 7 は、イベント参加者の特性を問う設問である。回答の割合は、開始時と終了時で大きな変化は見られない。

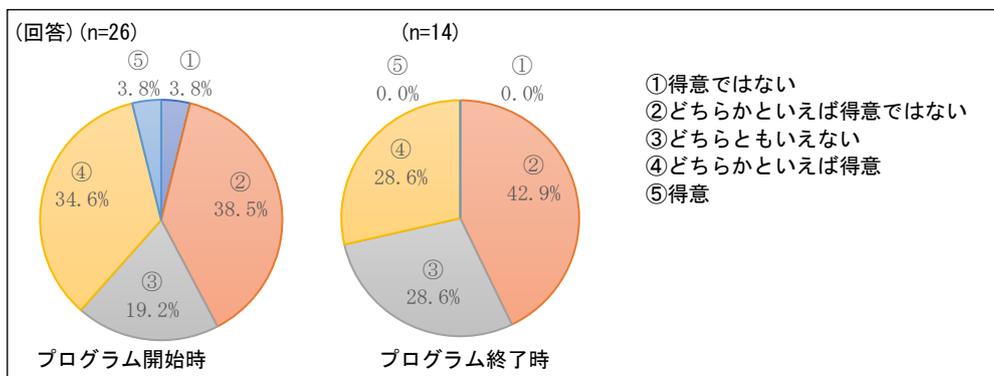


図 7. 自己表現の得意不得意

8) 問 8. あなたは消極的ですか、積極的ですか。

問 8 は、問 7 の設問と同様にイベント参加者の特性を問うものである。開始時は、どちらかといえば積極的、積極的との回答が半数であった。終了時はどちらともいえない、どちらかといえば消極的との回答が半数以上を占めた。

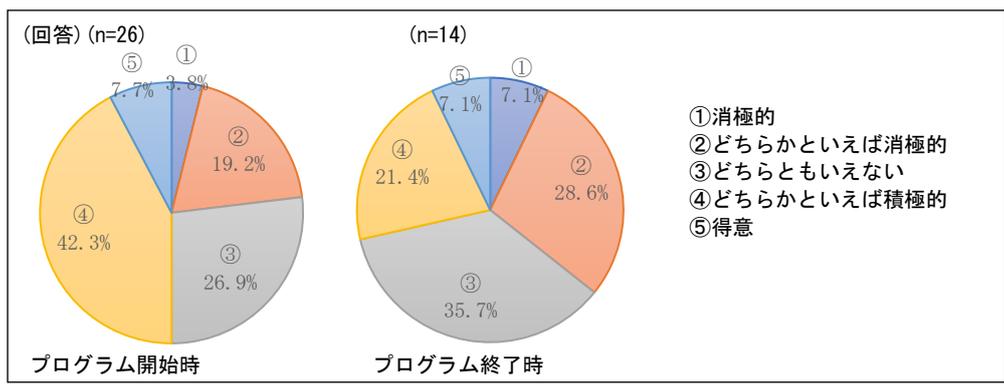


図 8. 積極的か消極的か

- 9) (開始時) 問 9. このプログラムに参加することで得られると期待することはなんですか。  
 (終了時) 問 9. この語学プログラムに参加することで得られたことや期待していたことが叶ったかについて記述してください。

開始時の問 9 は、プログラムへ期待することを自由記述で問う設問である。回答を大別すると 2 つで、1 つは、会話や発音、聴解、いいたいことが表現できるようになるといった語学力の向上に関する回答であり、最も回答者が多かった。もう 1 つは語学学習の機会や友人を得ること、楽しく学ぶことといった、学習の‘場’を得ることへの期待があげられた。

終了時の問 9 は、プログラム参加時に期待したことが得られたかを問う設問である。回答者の大半が学習の‘場’に対する満足度への回答であった。特に「楽しく学べた」という回答が多くあげられた。

#### IV. ファシリテーターについて

##### 1. ファシリテーターの概要

ファシリテーターを務めた留学生は、中国人留学生 2 名と韓国人留学生 3 名（韓国人留学生は前期と後期で 1 名が交代したため 3 名と表記するが、毎週のプログラム進行は 2 名で行った）の計 5 名である。ファシリテーターの選任は国際交流センター教職員が推薦する場合と、留学生自身による立候補によって決定した。

また、ファシリテーターとなった留学生についても参加学生同様に、プログラム終了時に Google フォームを用いてアンケート調査を行った。質問項目は①ファシリテーターを引き受けた理由②日本人との交流への関心③特性④プログラム参加による効果についてである。①と④については複数回答を認めている。回答数は 3 件であった。さらに、アンケート調査に追加して、プログラムへの提言を中国語と韓国語のファシリテーター各 1 名に対し、インタビューによる調査を行った。

##### 1-2. アンケート調査の結果

- 1) 問 1. ファシリテーターをしようと思った（引き受けた）理由はなんですか。

問 1 は、ファシリテーターとして参加した理由を問う設問である。日本人学生と交流するためとの回答が最も多かった。次いで、母語について知ってもらうため、母国について知っても

らうためとの回答が同数であった。

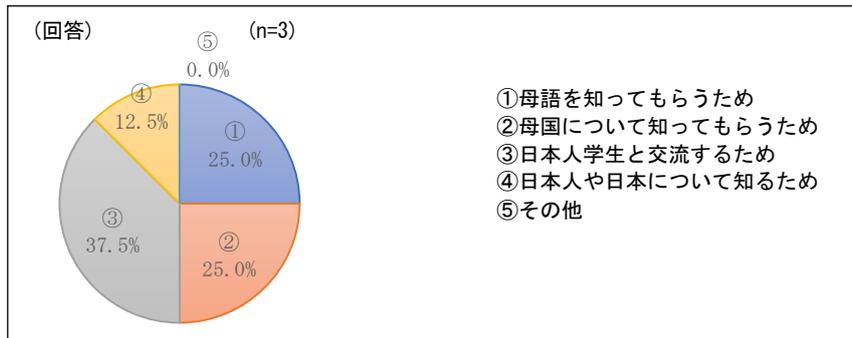


図 9. ファシリテーターをしようと思った(引き受けた)理由

2) 問 2. 普段授業以外で日本人学生と交流する機会がありますか。

問 2 は、授業以外での日本人学生との交流の有無を問う設問である。たまにある、どちらともいえないという回答が得られた。

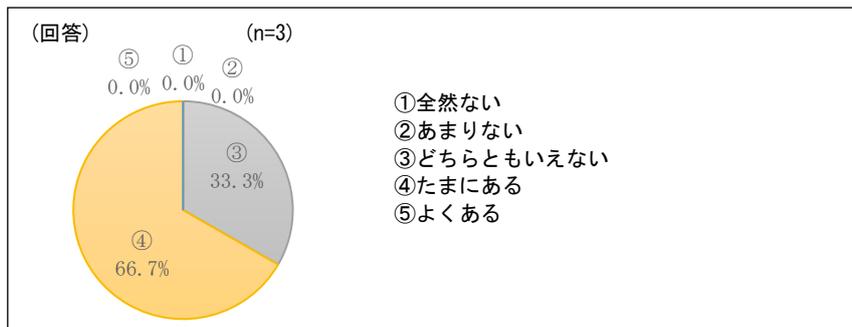


図 10. 授業以外での日本人学生との交流の有無

3) 問 3. 日本人と日本語で話すことに抵抗がありますか。

問 3 は、日本人と日本語で話すことへの抵抗を問う設問である。人数によるが抵抗があるとの回答と、あまり抵抗がないとの回答があった。

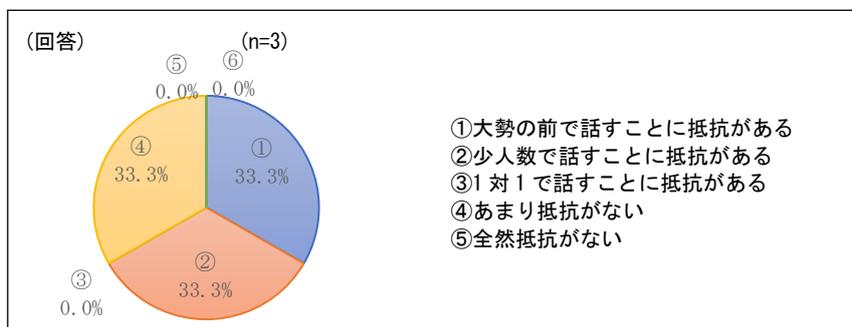


図 11. 日本人と日本語で話すことへの抵抗

4) 問 4. 日本人や日本人学生と交流することに興味がありますか。

問 4 は、日本人との交流への興味を問う設問である。興味があるとの回答が多く得られた。

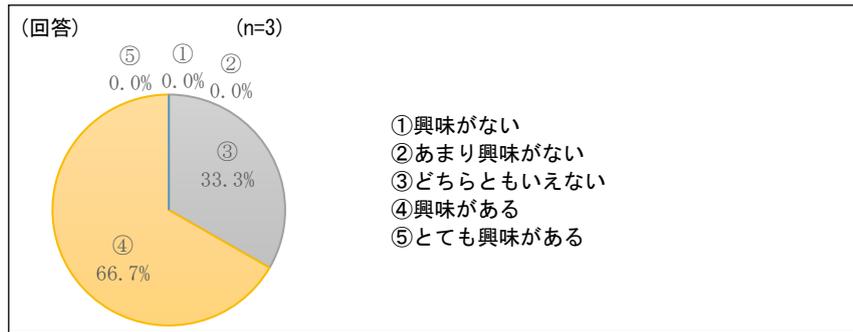


図 12. 日本人や日本人学生との交流への興味

5) 問 5. あなたは自己表現が得意ですか。

問 5 は、ファシリテーターを務めた留学生の特性を問う設問である。全員がどちらともいえないと回答した。

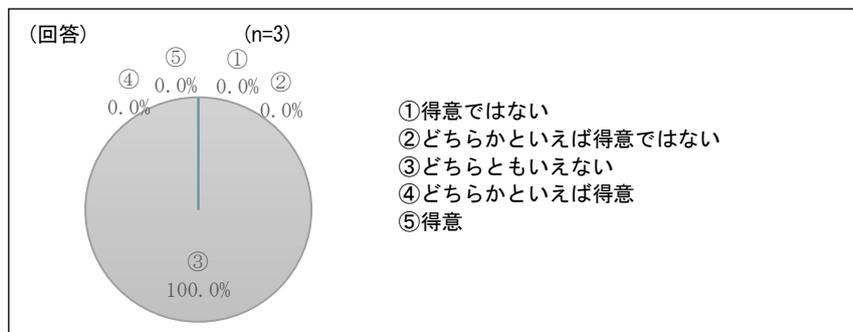


図 13. 自己表現の得意不得意

6) 問 6. あなたは消極的ですか、積極的ですか。

問 6 は、問 5 と同様に留学生の特性を問う設問である。回答はどちらかといえば消極的、どちらともいえない、どちらかといえば消極的との回答であった。

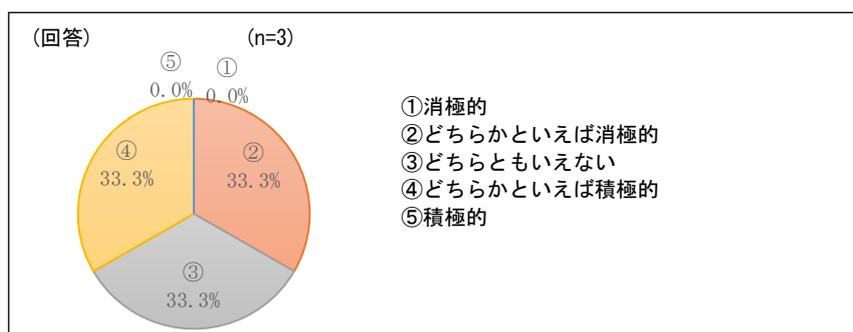


図 14. 消極的か積極的か

7) 問 7. このプログラムでどんなことができるようになりましたか。

問 7 は、プログラムのファシリテーターを務めることで何ができるようになったかを問う設問である。回答は以下の図 15 に詳細を示す。母語や母国を教えられることに加え、自分や日本人についてわかるとの回答も同程度得られた。

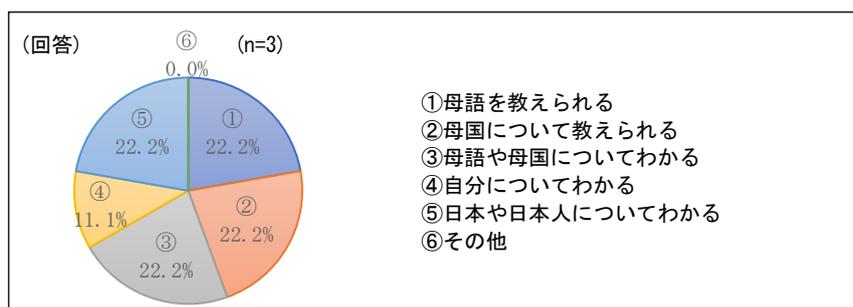


図 15. プログラムへの参加でできるようになったこと

### 1-3. インタビュー調査の結果

1-2. でアンケート調査への協力のあった留学生 3 名のうち、2 名に対しインタビュー調査を行った。質問項目は①プログラムに参加することでできるようになったこと、②プログラムへの提言の 2 つである。

①については、アンケート調査の間 7 の項目が回答として再度あげられた。2 名とも母語や母国についての理解を深めることができ、それを人に教えられるようになったとの回答を得られた。項目外では、日本語能力の向上があげられた。母語や母国について教えるための日本語の獲得と、日本人学生との交流による日常会話に必要な日本語が獲得できたとの回答が得られた。

②については、ファシリテーターを務めるにあたり、参加者の語学レベルが様々であったため、進行が困難であったことが 2 名からあげられた。また、参加人数が毎回不確定であるため、準備が困難であることがあげられた。

## V. 考察と今後の課題

本プログラムは、今年度から開始した取組みであったため、参加学生と留学生双方へのプログラムの効果に加え、学生の特性を測定するアンケート調査を実施した。特性に関する項目への変化は特に見られなかったが、語学力への効果や交流への興味関心を促すことへの効果が見られた。

アンケートの有用性については、プログラム開始時と終了時の両方への共通回答を得られた回答数は 6 件にとどまり、開始時と終了時の比較として十分なデータが得られなかったことが課題となった。

プログラムの評価としては、参加学生の「楽しく学べた」「楽しく交流できた」との回答や、留学生のインタビューでのプログラムに対する肯定的な意見から、学生にとって有意義なプログラムであったことが確認できた。一方で、ファシリテーターとして活動するにあたっては、参加学生の語学レベルの差や、参加人数の推移が円滑な進行への妨げになるとの意見もあげられ、今後の運営の課題となった。

参加者のレベル差については、プログラムの参加者を募る段階で、プログラムの活動の内容に即した語学レベルを設定しておく必要があるだろう。また、参加人数の推移については、今年度に限った問題であるかなど、原因が明らかになっていないため、次年度のプログラム実施により原因を明らかとしたい。

# 海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

---

---

発行：2022年3月

編集：下関市立大学 国際交流センター

連絡先：〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099

URL <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kkc/>